



色々な立場から見る 「やさしさ」

大阪府立水都国際中学校

2年

いけ みや か の
池宮 賀乃

私は最近、駅に点字ブロックがたくさんあるのだと改めて気づくことができました。障がい者の人にはもちろん、小さい子どもにも気をつけようと思ってもらえる目印となっていると思います。普段何気なく使っている駅ですが、他にもたくさんの工夫があるのではないかと思います、このレポートで調べることにしました。

調査を通して、駅の「やさしさ」をたくさん見つけました。1つ目は、【写真1】のように電車の路線図の駅名のところに英語でも書いてあるところです。障がい者の人への工夫もとても大切ですが、外国人の人への優しさも発見することができました。

また、【写真2】のようなトイレの目印となる「ようおこし」の文字もです。私のお父さんは大阪メトロで働いているのですが、それは大きくて目に入りやすいためこのようなデザインにしているそうです。

そして【写真3】と【写真4】のように、障がい者やお年寄り、妊婦さんにやさしい車内の工夫も見つけられました。優先座席はもちろん、ベビーカーや車いすをおけるスペースなどもあり、色々な不便を抱えている人が、楽に過ごせるやさしさがありました。

さらに、【写真5】のように優先座席があるところや、エレベーター・エスカレーターのある車両がひと目見てわかる表もあります。そして、【写真6】にあるように最近よく見るホーム柵もありました。しかし、すべての駅に設置されているわけではありません。私の最寄りの駅にはなく、少し大きな駅や人が多い駅に優先でつけられているのかなと思いました。早くすべての駅にホーム柵をつけて、転落事故がなくなったらいいと思います。

そして、この間運賃が10円高くなりました。それは、その10円でバリアフリーな取り組みや設備の設置などをするために運賃を値上げしたそうです。私は「なぜ高くなるのだろう」と思っていたけれど、その理由がわかると納得してもっと使いやすい駅になるのが楽しみになりました。

このように、駅にはやさしさがたくさんあります。その対象は、障がい者やお年寄りだけではなく、妊婦や外国人の方などと様々です。色々な世代や不便を抱えている人たちが利用する駅ならではの工夫がたくさんあり、とても良い経験になった調査でした。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6